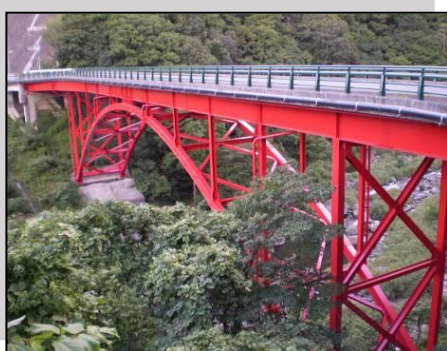


景観アドバイザー制度

～わたしたちが“まちづくり”をお手伝いします～



島根県 土木部 都市計画課

◇景観アドバイザー制度とは？

建築、造園・緑化、デザイン等の専門家を助言者(景観アドバイザー)として派遣し、県民や事業者のみなさん、市町村などの景観づくりを支援するための制度です。

魅力ある景観づくりのための計画の立案から実施にいたるまで、幅広いアドバイスを受けることができます。

「景観アドバイザー」は、景観に関して専門的な知識を有する学識経験者、実務者の中から島根県が委嘱した方々です。

より良い景観づくりのため、専門的な立場からアドバイスを得られます。



◇どんな時に派遣依頼できるの？

例えば、

●県民・事業者の皆さんの場合

- ・ 伝統的な町並や建築物を保存しようとするとき。
- ・ 自治会や商店街で景観形成住民協定や景観協定・建築協定・緑化協定を結ぼうとするとき。
- ・ 緑化事業(生け垣づくり、花づくり活動など)を行おうとするとき。
- ・ 周辺の景観に調和した造成事業、採石事業などを行おうとするとき。
- ・ 周辺の景観に調和した事務所、店舗、工場などを建てたいとき。
- ・ 個性あるまちづくり、魅力あるまちづくり事業を行おうとするとき。

●市町村の場合

- ・ 景観形成に関する基本方針や基本計画を策定しようとするとき。
- ・ 地域の景観特性を活かしたまちづくりを行おうとするとき。



◇費用はどのくらい？

派遣に要する費用は、県民・事業者の皆さんが申請される場合は無料です。

ただし、市町村が申請される場合は市町村の負担となります。

◇景観アドバイザーってどんな人？

景観に関して専門的な知識を有する学識経験者、実務者の中から島根県が委嘱した方々です。
より良い景観づくりのために、専門的な立場からアドバイスをいただくことができます。
令和4年7月1日から令和6年6月30日の間は、次の方々です。

●建築設計部門

坂本拓三



高梨哲朗



松倉慎治



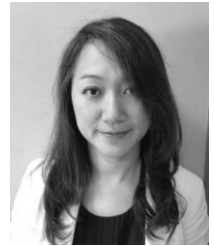
宇田川孝浩



原浩二



坪倉菜水



●土木部門

吉田薫



服部博子



和田浩



●造園修景部門

仁宮敏夫



榎野浩二郎



松浦隆介



竹田和彦



松井義己



●まちづくり部門

廣兼義明



安川唯史



●デザイン・色彩部門

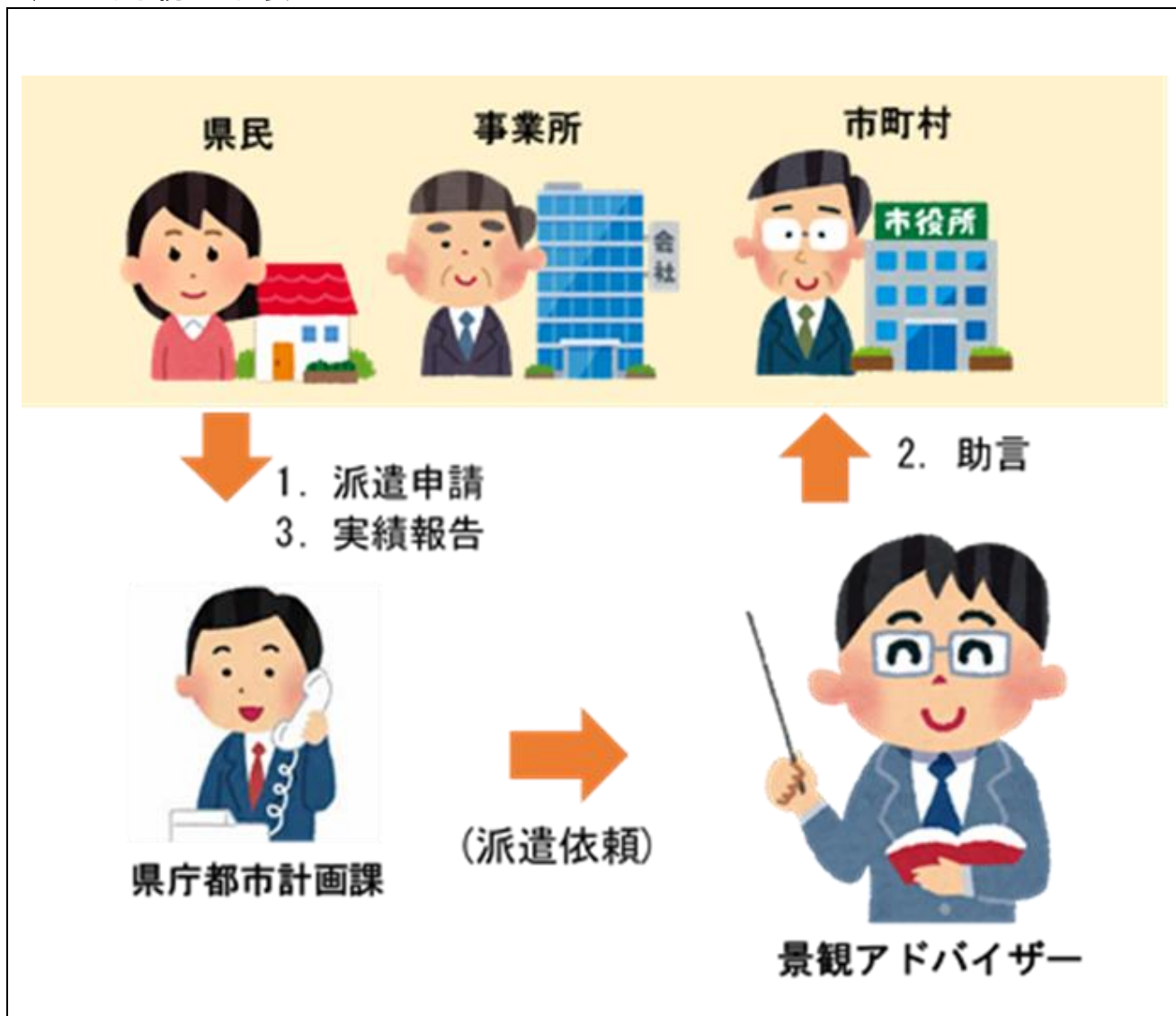
石野眞



寺井壽一



◇どんな手続きが必要？



◇助言は必ず採用しないといけないの？

景観アドバイザーの助言を必ず採用する必要はありません。
あくまでアドバイスするだけですので、最終的には依頼者の方で決定していただきます。

◇何度でも依頼が可能ですか？

1つの案件に対して原則として2回までとし、1回につき3名以内です。

◇過去の事例を教えてください？

例 1

《依頼内容》

出雲市大社町鷺浦地内の神社の古木の健全度診断について

古木の状況



現地での診断



現地での診断



地元関係者への説明



《主なアドバイス》

- ・ 古木の健全度診断（3本健全、2本道路越境部伐採、2本根元伐採）。
- ・ 剪定は、先端でZ型に切断し、短くした上で本切断し、残る木への負担を軽減する。
- ・ 傷口には処理剤を塗布する。
- ・ 樹高剪定の際は、林冠に配慮する。（遠目に丸く見えるようにする。）
- ・ 剪定時期は、11月～3月が適当。（樹木内に養分が溜まっている）

例 2

《依頼内容》

橋の修繕工事に伴う再塗装にあたり、現地周辺の景観に配慮した色彩についてのアドバイス

施工前



《主なアドバイス》

- ・ 橋梁を視認するポイントを想定して色を選定。釣り客や農作業の季節を考え、春から秋を想定して色を選定。
- ・ 背景は溪谷で、空が見える範囲は少なく、橋梁も空にはかからないので、新緑や紅葉になじむ色が良い。
- ・ 冬期の交通安全を考えて、高欄の塗装色は濃彩が良い。
- ・ 長期的に色あせないことも維持管理のうえ重要なポイント。

案1

(橋梁本体:ライトグリーン 高欄:ダークブラウン)



案2

(橋梁本体:ライトグリーン 高欄:ダークグリーン)



案3

(橋梁本体:ダークブラウン 高欄:ダークブラウン)



施工後

地元協議により以前と同じ色彩(赤系)に決定



例 3

《依頼内容》

まちづくり活動の事例や方向性等についてのアドバイス

【講演】

テーマ:「本町まちづくりへの提言」

江津市の円覚寺にて



《主なアドバイス》

- ・ まちづくりで大切なことは、楽しさの中に緊張感を持った“交流”。
- ・ 他地域、他世代、性別にとらわれないこと。
- ・ 自分たちの街を誇りに思うこと。
- ・ 話し合いの場、確認の場があること。
- ・ 次世代に引き継ぐことを考えながらまちづくりを行うことも大切。
- ・ 県内各地のまちづくり活動と交流しては？
- ・ 他地域のまちづくり活動の事例を紹介。

例 4

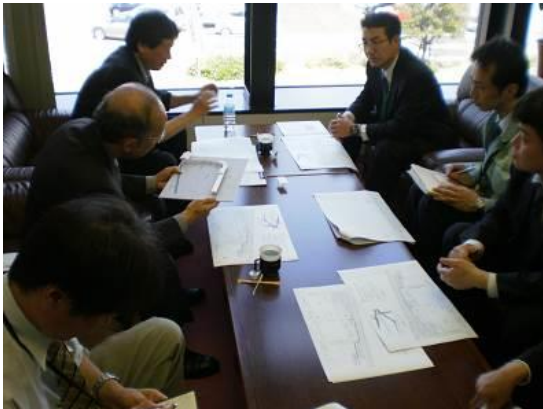
《依頼内容》

出雲空港敷地内において、ターミナルビルから東駐車場まで屋根付き通路を建築するにあたり、現地周辺の景観に配慮した色彩等についてのアドバイス

施工前



協議の様子（出雲空港管理所にて）



《主なアドバイス》

- ・ ターミナルとの調和が必要。歩きやすく、楽しい歩廊とすることが大切。
- ・ 県産材を上手に使うことがポイント。
- ・ こしかべ腰壁については、無いほうが軽やかだが、風雨のことを考えれば機能的には必要。シースルーの腰壁とした事例もある。
- ・ 柱は丸型が軽快に見えるのではないか。

施工後



腰壁

例5

《依頼内容》

一般県道斐川出雲大社線の荻杼横断歩道橋を再塗装するため、周辺の景観と調和した色彩についてのアドバイス

施工前



《主なアドバイス》

- ・ 歩道橋は、沿道景観の連続性を断つ構造物なので、周辺景観から突出した印象とならないように配慮する。
- ・ しまね景観色彩ガイドラインに基づき、低彩度の色合いを選定する。
- ・ 暗い色は、重々しく威圧的な感じが強くなるので避け、明度の高い色合いとする。
- ・ 桁と手すりの色合いを変えると全体的にシンプルに見える。

案1



案2



案3



施工後



■ 過去4カ年の派遣実績

平成29年度～令和3年度は、計13件（20名）の派遣を行いました。

- ◇ 小佐々布橋（国道9号跨道橋）の再塗装（平成29年10月2日）
再塗装をするにあたり周辺の景観に配慮した色彩についてのアドバイス
- ◇ タブの木の健全度診断と対処（平成29年11月22日）
松江市景観重要樹木に指定されているタブの木の健全度診断及び今後の対処についてのアドバイス
- ◇ 都市計画道路「中島染羽線」街路樹の維持管理（平成31年1月9日）
街路樹の維持管理方法についてのアドバイス
- ◇ 井奥谷川の砂防堰堤鋼製スリットの塗装（令和元年7月3日）
周囲の景観に配慮した鋼製スリットの色彩についてのアドバイス
- ◇ 緑樹橋の手すり（令和元年10月17日）
県庁本庁舎とお花畑駐車場間の「緑樹橋」の手すりの取替えにおける、現地周辺の景観に配慮した手すりの形状及び塗装色についてのアドバイス
- ◇ 都市計画道路「元町人麿線」（仮称）新高角橋の塗装（令和元年11月22日）
周辺環境にマッチ、または新たなシンボルとしてふさわしい塗装色についてのアドバイス
- ◇ 有福温泉活性化検討委員会（令和元年12月3日、令和2年2月7日、令和3年9月21日）
検討委員会の委員として、鋼橋の桁と高欄の色、照明のデザイン等、観光地である有福温泉に相応しい修景についてのアドバイス
- ◇ 県立吉賀高等学校（令和3年12月8日）
総合的な探究の時間の学習テーマにおける建築設計専門家からのアドバイス
- ◇ 安来市広瀬町広瀬洞光寺景観への影響確認（令和4年1月13日）
緊急予防治山事業（洞光寺）山腹工事にかかる樹木伐採による景観影響へのアドバイス

【問い合わせ先】 島根県 土木部 都市計画課

TEL 0852(22)6773

FAX 0852(22)6004